

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちにことばの贈りもの」
単元名 (全72時間)	浜のまちのよさを伝えよう
学習のねらい	何気なく生活しているまちには、たくさんの思い出があり、それをいつまでも大切にしようとする心を養う。また地域の一員として地域の方と積極的にかかわり、地域や社会参画の意識を高め、実践する。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 12年間過ごしたまちへの思いを語り合い、未来に残したい町の良さを考える 2 地域の方へ取材・交流を図りながら地域の歴史や良さを知り、自分なりの地域像を描く 3 花と景観の結び付きに気付き、花育を学び、自分たちで花を育て、景観の変化やよさを写真撮影し、自分が表現したいことを仲間と議論しながら伝える 4 式典で展覧コーナーを作る 作品展示会を行う
参考資料 準備品 実施場所等	磯子区総合庁舎1階ロビー

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
8	<p>【国語】聞いて考えを深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中に学校があることを知り、地域のためにできることを考える。また、地域散策、地域の方への取材 ・地域の方が感じるまちの良さや課題を知り、地域のためにできる ・地域のためにできる意見文を書く ・心に残った景色を写真に収める。理由も添える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移り変わる地域の景観に目が向くように地域の方に講話をしてもらう。 ・自分たちが好きな景色や思い出の場所にも目を向けさせる。 ・地域の方への取材や仲間との交流から自分なりの思いを高められるように声をかける。 ・見に付いた力の整理 ・相手意識を明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・取材計画 ・取材 ・情報収集分析 ・意見文

4	<p>【総合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の総合学習の振り返る。 ・今年度の学習材について話し合う。(調べる時間含む) ・地域の景色や植物について考える。 ・専門家による出前授業 ・ドライフラワー体験 <p>・ドライフラワー体験振り返り</p> <p>・表現したいテーマについて話し合う。</p> <p>・創立80周年記念式に向けて校長先生へ作品をプレゼンテーションする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の思いを板書で整理 ・ドライフラワーに関心が持てるようにする。 ・模造紙に記載した専門家のやり方を見ながら体験をできるようにする。 ・専門家の作品との違い、自分たちの表現の方向性を共有する。 ・未来に残したいまちの景観を表現することを一つのテーマとし、式典で展示することを目的意識とする。 <p>・自分たちのお祝いのイメージを基に抽象的なドライフラワー作品だけでなく、まちの景観を撮影して式典で展示する事に着目させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、振り返り ・発言、振り返り ・発言、振り返り ・作品 ・発言、振り返り
10	<p>【図工・総合学習】アートカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影する写真の課題設定 ・地域の中で、「花」を足すことで、景観に彩りを添えたと思う場所はどこか考える。 ・撮影後、仲間と交流する。 <p>・アートカードづくり</p> <p>・何度も様々な場所へ出向き、地域の様子や自分の思いから心に残った写真を撮る。理由も添える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「未来に残したい」をテーマに今のまちの景観を角度にこだわりながら撮影する。幼いころの思いである場所であれば、低い位置からの撮影をするなど。 ・花が景観に彩りを与えていることに気付くような場所、声掛けをする。また、理由も考え、記録に残すようにする。 ・総合学習と連携させるが、違いを明確する。 ・仲間が写真に込めた思いをみんなで予想し、答えを聞くことでまちの景観に対する思いを高める。 ・作品にタイトルをつけ、まちへの思いをよりよく表現できるようにする。 ・写真のきれいさではなく、植物と地域のつながりに注目した作品へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・写真 ・発言 ・写真、発言 ・文章

<p>13</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体共有 <p>【総合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が思い描く、まちの色や思いを取材する。 ・花を植える。 ・専門家や地域の方からの声を聞く。 ・写真に対する自分の思いとその思いがさらに伝わるような展示のためにドライフラワーを効果的に飾る方法を考える。 ・ドライフラワーは地域の人からもいただいたロスフラワーや自分たちが育てた花を利用して、作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会準備 ・今まで撮影した中からみんなに伝えたい、残したいと思う1枚を厳選し、その理由も考える。 ・展示レイアウトを考える <ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返り 	<p>込める思い、言葉が大切であることに気付かせる。また、未来に残したいという思いを高められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に花を植えたらよい彩りのある景観になることに気づき、地域に植栽をしてよいか交渉する。近隣の幼稚園や自治会に交渉する。 ・繰り返し作品作りに取り組む中で一人ひとり表現したい思いが明確になるようにする。 ・客観的な視点をもらってさらに自分たちの作品の課題を見出す ・一緒に展示することで、自分たちのまちの風景を思い出し、地域の方とのつながりも深め、さらに地域の景観に対する興味や関心も高めるようにする。 ・自分の思い描く写真に合う言葉を添え、仲間と交流しながらよりよい表現したいを追求する。 ・区役所への交渉の電話をする ・来館された方の立場に立ってレイアウトを考えさせるようにする。 ・様々な方に支えられて活動に取り組めたことに気付くようにする。 ・活動を通して学んだ、地域と共にある景観のよさをこれからも大切にしていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、振り返り ・作品、交流 ・写真、交流 ・作品
-----------	---	--	---

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
	教室	<p>テーマを決め、環境を守る取り組みを考えよう</p> <p>【総合】</p> <p>① 昨年度の総合学習の振り返り</p> <p>② 今年度の学習材について話し合う（調べる時間含む）</p> <p>③ 出前授業 ロスフラワーや花育について学ぶ。</p> <p>③ ドライフラワーづくり体験</p>		<p>・自分たちで目標を見つけ、活動することでそれぞれの役割や活動意義を見つかる姿が見られた。</p>
	教室	<p>ロスフラワーを活用した作品を作り、地域に届けよう</p> <p>【総合】【図画工作】</p> <p>① ロスフラワーの削減に注目し、地域に呼び掛ける。</p> <p>② ドライフラワーからできる作品を調べる</p> <p>③ 作品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニフラッグ ・浜小80周年記念式典で展示する装花 ・ポストカード 		<p>・地域の方に呼び掛けたり、作品づくりを通して地域の環境にも目を向けたりすることができた。</p> <p>・学校の周年行事を祝うことができ、所属感を味わうことができていた。</p>

	<p>地域</p> <p>教室</p> <p>校庭</p>	<p>汐見台の町の景色を知り、さらによりよい場所をつくろう</p> <p>① 町探検 学校周辺を散策し、自分のおすすめの場所を見つけ、写真に残す。</p> <p>② お気に入りの場所 地域の人に伝える。 素敵な様子が伝わるように花と写真を組み合わせたリースを作成する。</p> <p>③ 景色をパワーアップ 何気ない景色をさらに地域の人への癒しの場になるように花を植える。 自分たちでも世話がしやすく、地域のがよく通る校門の前と場所を決め、プランターに花を植えた。</p>	   	<p>・普段生活している地域のよさを振り返ることができた。また、写真に残すということで自分の思い出や町のよさを改めて感じることができていた。</p>
	<p>教室</p> <p>磯子区 総合庁舎</p>	<p>自分たちの活動をより多くの人たちに伝えよう</p> <p>① 今までの学習の積み重ねを発表する場所を調べて、依頼する</p> <p>② 学びをまとめる</p> <p>③ 構成を考える</p> <p>④ 作品展示の仕方を計画する。</p> <p>⑤ 展示する。</p> <p>⑥ 振り返りをする。</p>	 	<p>・学校以外の場所で作品展を開くことで地域の方など多くの方に見てもらうことができ、達成感を味わうことができた。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>子どもたちが意欲をもって活動に取り組めるように、事前に調べる活動を行ったり、体験活動を多く取り入れたりした。また、活動を進める中で課題やさらに発展できるように教師が事前に見通しをもってから活動を進めるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>始めは、子どもたちの知識も経験も少なく、なかなか活動が軌道に乗らない子もいた。どの子も活動始めからもっと活発に活動できるような教師の支援が必要だと思った。そうすることでさらに主体的に取り組むことができたと思う。活動の積み重ねは大切だが、今後もさらに子どもたちの活動を盛り上げるために教材研究に取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちの身近な町や植物、環境などを中心に活動を進められたことで、自分ごととして考える姿が多く見みられた。授業の中だけに留まらず、日常の中でも町や環境について考えながら取り組み、生活に結びつけていた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>子どもたちが自分たちで企画したり、話合ったりする場が増えていた。その様子から教師も子どもたちとさらによりよいものを作りあげたいという思いを高めながら活動することができた。子どもたちが共に生きる地域のよさに触れることでこれからの生活にも繋がると感じた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <p>町には自然の多い場所や地域の施設などが多くある。地域の中の一員として意識できるように学校としても交流の視点を取り入れた活動を今後も続けていきたい。また、子どもたちが主体的に関わることを通してさらに活動を活性化させていきたい。</p>